揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、糸魚川-静岡構造線断層帯（南側）による地震が起きた場合を想定して、震度予測結果から作成したものです。

震度7

揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。

屋内の状況：ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。
屋外の状況：ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。
木造建物：耐震性の高い住宅でも、傾いたり、大きく破損するものがある。

震度6強

立っていることができず、はわないと動くことができない。

屋内の状況：固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。
屋外の状況：多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
木造建物：耐震性の低い住宅では、倒壊するものが多い。耐震性の高い住宅でも壁や柱がかなり破損するものがある。

震度6弱

立っていることが困難になる。

屋内の状況：固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。
屋外の状況：かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
木造建物：耐震性の低い住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。

震度5強

非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。

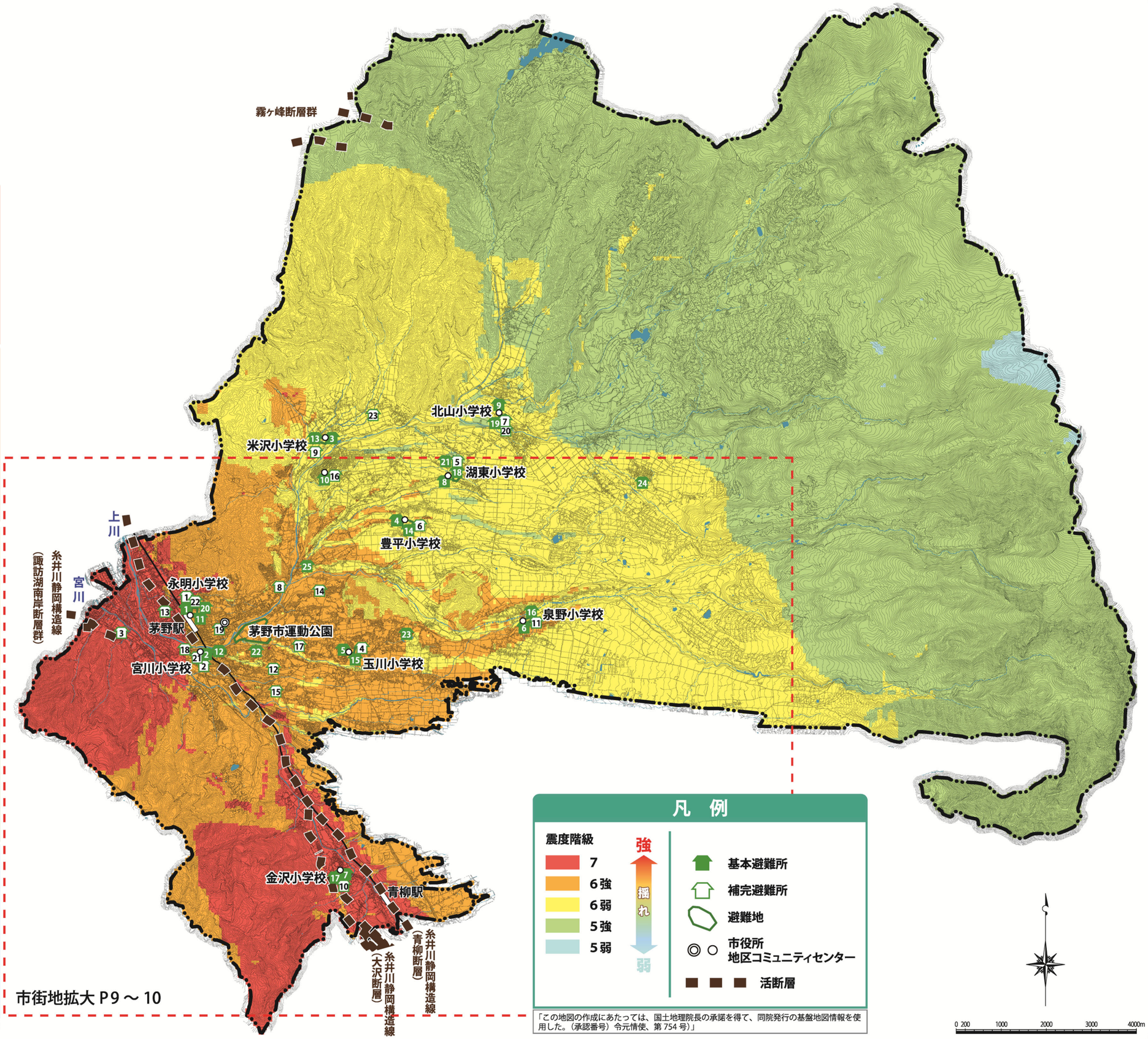
屋内の状況：棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。
屋外の状況：補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。
木造建物：耐震性の低い住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。

震度5弱

多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。

屋内の状況：座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。
屋外の状況：窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。
木造建物：耐震性の低い住宅では、壁や柱が破損するものがある。

気象庁震度階級関連解説表より抜粋



市街地拡大 P9 ～ 10

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承諾を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号）令元情使、第 754 号）」